

 TOPIC 展覧会紹介

◆常設展 コレクション展 vol.43 【有料展】

郷土の画家シリーズ 火星燃ゆ

4月27日(火)→6月27日(日)

右の作品は、独立美術協会で活躍した赤堀佐兵(1904-1961)が亡くなる2年前に描いたもの。独立美術協会設立当初から所属し、最先端の画風に次々と染まっていった時期を経て、1955(昭和30)年頃から、ようやく自分らしい、茫洋とした豊かな半具象の画風を築きつつあった赤堀でしたが、この絵を描いた翌年胃がんのため入院。1961(昭和36)年、胃がんが再発し帰らぬ人となりました。

本展サブタイトルは、同作品の不思議な感じをイメージして、津山出身の俳人西東三鬼(1900-1962)の1959(昭和34)年の句「鷹を売り獅子売る都会火星燃ゆ」より拝借いたしました。全身全霊を芸術に捧げた2人の男たちの不思議な縁を感じます。🌸



赤堀 佐兵 作「獅子と鷹と」130.5×162.2 cm 油彩・布 (1959年)

◆常設展 小企画 40 【有料展】

木村毅とオリンピック 4月27日(火)→6月27日(日)



勝央町出身の文学者・木村毅(1894-1979)は、東京都参与を務めたとき、オリンピック招致を都知事に具申します。それは1949(昭和24)年、戦後の荒廃で食糧事情も悪かった頃のことでした。東京大会の開催が決定していた1960(昭和35)年当時も時期尚早論が強く賛否両論でしたが、結果的には運営や演出も見事で「未曾有のオリンピック」として称賛を浴びる大会となりました。木村毅は「筆者みずからも、日本のオリンピック史にいささかの貢献をしていることに胸をふくらましているのである」と、著書に記しています。(出典：木村毅『日本スポーツ文化史』ベースボール・マガジン社、1978年)

画像は、木村毅が1963(昭和38)年(東京大会の前年)に書いた「東京オリンピックへの招待状」の草案。東京都知事・東龍太郎名義で、木村毅が書いています。🌸

木村毅 筆「東京都知事・東龍太郎からマリイ・ボナバルト・ジョルジュ妃殿下宛 1964年東京オリンピックへの招待状」の草案 (1963年)

information お知らせ

詳細は、勝央美術文学館事務局(0868-38-0270)まで。



ちるどれんずあーとプログラム受講生募集!

対象：保育園新年中～小学校新1年生 / 定員：8名

受講料：1,000円(全3回分) / 講師：水島 生恵(みずしま いくえ)先生

予定：第1回 5月22日(土) / 第2回 6月12日(土) / 第3回 7月10日(土)

申込み・問合せ：勝央美術文学館 ☎0868-38-0270 (火～金曜日)

受付期間→2021年4月13日(火)10:00～4月20日(火)

※定員に達し次第受付を終了します。

ミュージアム・ボランティア募集!

勝央美術文学館では、ボランティアスタッフとして参加して下さる方を募集します。

ご参加をお待ちしています。

編集後記 当館では年明けから、ご入館の際にマスクの着用や検温に加えて、来館者の皆様へ、チェックシートのご記入をお願いしております。折角作品を見に来て頂いたのに、個人情報などプライベートな内容をご記載頂かねばならず大変恐縮しております。新年度になっても当分は、新しい生活様式のもとご無理を申し上げる事となりますが、感染拡大予防のため何卒ご協力をお願いいたします。🌸

勝央美術文学館 
SHOO MUSEUM OF THE ARTS
〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝岡田 207-4
Tel. 0868-38-0270 / Fax. 0868-38-0260
http://museum.town.shoo.lg.jp

公式 WEB





開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)

印は休館日(月曜休館・月曜が祝日の場合は翌平日に休館)*展示替えによる特別休館日がありますのでご注意ください。

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



EXHIBITION 展覧会案内

◆常設展



コレクション展 vol.43

郷土の画家シリーズ

火星燃ゆ

4月27日(火)→6月27日(日)

展示室

当館所蔵コレクションから、少し元気をもらえそうな作品や、旅行気分を味わっていただけそうな作品などを紹介します。出品作品は、二科会で活躍した洋画家の福島金一郎や、独立美術協会で活躍した赤堀佐兵、水野恭子ら当館顕彰作家の作品を中心に約20点を展示します。



福島金一郎作「樹下読書」60.5×73.0 cm 油彩・布(1930年)



小企画 40

木村毅とオリンピック

4月27日(火)→6月27日(日)

特別展示室

勝央町出身の文学者・木村毅(1894-1979)が、1964年東京オリンピックに関わっていたことを示す資料を中心に展示し紹介いたします。木村毅が書いた「東京都知事・東龍太郎からマリイ・ボナパルト・ジョルジュ妃殿下宛 1964年東京オリンピックへの招待状」の草案(1963年)などを展示します。

入館料

一般 300円

大学生・高齢者(65歳以上) 100円割引

高校生以下 無料

*大学生・高齢者は要証明書提示

*20人以上の団体は2割引(ただし、他の割引との併用は不可)

*障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名は無料

*勝央町内在住の65歳以上の方は無料

◆貸館

入場無料

◎ 勝間田焼同好会・勝間田焼復活会グループ展

4月30日(金)→5月5日(水)

町民ギャラリー1

勝間田焼同好会の初めて挑戦した陶板と

ノースヴィレッジ青勝窯の勝間田焼作品の展示。

初日13:00から。最終日16:00まで。

◎ 絵画教室 SHOO 作品展

町民ギャラリー1

5月12日(水)→16日(日)

絵画教室生によるR2年度の成果を発表する作品展。

最終日17:00まで。

◎ 勝央川柳社作品展

町民ギャラリー2

6月23日(水)→27日(日)

初心者から、経験豊富な人たちの、作品展です。

その時々、作者心情が詠まれています。

最終日16:00まで。

【お知らせとお願い】

新型コロナウイルス感染拡大などの状況により、展覧会の会期等が変更となる可能性があります。最新の情報は、勝央美術文学館のホームページまたはFacebook、Twitterをご確認ください。

ご来場の際には、マスクの着用、手指の消毒、検温、来場者チェックシートの記入にご協力をお願いいたします。